

試料・情報利用研究計画書(概要)

| | | | | | |
|----------------|---|------|-------------|-------------------|--------------|
| 研究番号 | 2025-1007 | 利用形態 | 共同研究 | | |
| 研究題目 | 腎機能の低下に関連するタンパク質および生活習慣に関する研究 | | 研究期間 | 2025年8月 ~ 2028年7月 | |
| 主たる研究機関 | 東北大学東北メディカル・メガバンク機構 | | 責任者 氏名・職 | 寶澤 篤 | 教授 |
| 分担研究機関 | NECソリューションイノベータ株式会社 | | 責任者 氏名・職 | 東 英樹 | シニアプロフェッショナル |
| 研究目的と意義 | 慢性腎臓病(CKD)は、新たな国民病と呼ばれるほど身近な疾病になっています。腎機能は低下すると回復が難しいので、早期の発見と発症予防、重症化防止につながる生活習慣が重要です。本研究は、早期の腎機能の低下・維持に関連するタンパク質を特定すること、腎機能と生活習慣の関連を明らかにすることを目的とします。研究から得られた知見は、より早い段階でCKDの発症リスクの高い人を見つけ出し、生活習慣の改善を促すことができるような仕組みの検討に役立てます。 | | | | |
| 研究計画概要 | 東北メディカル・メガバンク計画の地域住民コホート調査(宮城)に参加された方の血液検体から、NECソリューションイノベータ株式会社が委託するフォーネスライフ株式会社がタンパク質を測定します。解析対象のデータは、すべて東北メディカル・メガバンク機構(ToMMo)のスーパーコンピュータシステムに格納されており、ToMMo、NECソリューションイノベータ株式会社にて、基本属性情報や検体検査情報、ゲノム・オミックス情報とあわせて分析することにより、腎機能の低下・維持に関連するタンパク質を探索します。さらに、検体検査情報と基本属性情報、調査票情報の関連を分析し、腎機能の低下・維持と生活習慣について調べます。 | | | | |
| 利用試料・情報 | 対象:東北メディカル・メガバンク計画の地域住民コホート調査(宮城)に参加された方 300名 試料:血漿(1検体当たり:130 μ l) 情報:基本属性情報、調査票情報、血液検査情報、尿検査情報、メタボローム情報、アレイ情報、全ゲノム情報 | | | | |
| 期待される成果 | これまでより早い段階でCKDの発症リスクの高い人を見つけ出すことができるようになります。また、早期の腎機能の低下に関わりのある生活習慣を明らかにし、CKD発症予防につながる健康行動を提示できるようになる可能性があります。 | | | | |
| 倫理審査等の経過 | 2025年5月 東北大学東北メディカル・メガバンク機構倫理審査委員会 | | | | |
| 倫理面、セキュリティ面の配慮 | <p>研究対象者である地域住民コホート調査(宮城)の参加者からのすべての情報は、ToMMoの匿名化管理室において加工され、対応表は生体認証付金庫に収納された生体認証とパスワードによりアクセス制限をされたコンピュータに保管され、一切のネットワークから切り離された状態で管理されています。</p> <p>健康調査情報については、ToMMoスパコンのセキュリティ区画に個人が特定されない状態で保存され、データアクセスと解析は、ToMMo 内または遠隔セキュリティエリアの限定されたセキュリティ区画内で倫理審査により承認された研究員によってのみ、複数の生体認証の後に行われます。同セキュリティ区画以外へは統計情報以外は持ち出しません。</p> <p>共同研究機関は、東北大学東北メディカル・メガバンク機構のセキュリティ実施ポリシーを遵守して試料・情報を管理します。</p> <p>なお、当研究に携わる研究者は、定期的に倫理および情報セキュリティに関する教育を受講します。</p> | | | | |
| その他特記事項 | この研究は共同研究費により実施します。 | | | | |
| (事務局使用欄) | *公開日 2025年6月27日 | | | | |